

目標達成計画

【 目標達成計画 】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居されてからの利用者様が、必然的に徐々に高齢になって、看取りが避けられない事例が増えてきている。職員の中には、経験した事がなく不安も抱いている若い職員がいる。また、高齢になると共に、体調悪化する利用者様が増えてきて、急変時対応も必要となってきている。	現在介護度5の方が7名で、内看取り契約をされている方が、6名です。看取り契約を結んではないけれど、102歳の最高齢の利用者様は、肺炎で1か月半の入院を経て退院されましたが、かなり状態が低下して帰って来られた事を考えると、利用者様にホームを終の棲家として安心して最期まで暮らしてもらう為に、若い職員も含めてチームケアが出来る様に、家族様、ホーム看護師も含め医療関係者との連携が益々必要となってくる。	訪問診療してもらっている中で、その段階になった利用者様には、家族様と事業所と医療関係者との連携を図り、その状況を職員全員に周知する。また、若い職員の不安を取り除いて、安心してケアが出来る様、急変時対応研修や看取り研修をしたり、都度利用者様の状態が変わって来た段階で、どうしてなるか、また今後考えられる事態について、疑問や不安がある時に話を聞いて対処して、利用者様の思いも汲み取る事が出来る様支援を継続する。	1年間
2	35	全世界的に感染拡大した新型コロナウイルスが、終息を見せないどころか、変異株が次々と現れ、ウイズコロナとして生活しないといけませんが、発生時対応の確立を図る。	高齢で認知症状にある利用者様が、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザ等の感染症に感染しない様に事業所全体で予防する。また、もし発生した場合の対処方法を、職員全員に周知・実施出来る様にする。	新型コロナウイルスの感染防止マニュアルをホームの状態に合わせたマニュアルに手直し作成するだけでなく、それを職員全員に周知して、実際の発生時に対応出来る様に、内部研修を事業所全体として行う。他感染症の発生時も同様に少しでも被害が広がらない様、また何よりも日々の基本の感染予防に努める。また、体調不良時には、休み申請をして、ウイルスをホームに持ち込まない様に全員に周知する。	1年間
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。